

天龍寺〔下嵯峨大井河北岸にあり、五山の其一なり〕此方丈の林泉は開基夢窓国師の作り給ふ、亀尾山、あらし山、大堰川、戸難瀨瀧を庭中の荘として、此辺の妙境なり。山門を普明閣と号し、集瑞軒の蓮池を曹源池と称す、龜山の麓より水脉通じて炎暑にも涸ず、万松洞は当山の南の松林をいふ、龍門亭は多宝院にありて戸難瀨に向ふゆへ此名を呼ぶ。妙智院の庭中は僧良策彦の造れるなり。此人大明に渡る、其時角倉宗桂を〔了以の父なり〕遵ふ、此事大悲閣了以の碑に見えたり、集瑞軒は方丈の書院をいふ。

天龍寺方丈の集瑞軒より、雪のふりける日、あらし山をみわたして、

家集 雪ふりて花かとみゆるあらし山松と桜ぞさすがかはれる 夢窓国師

靈庇廟は鎮守八幡宮をいふ、絶唱溪は大井河を号く、三級巖は戸難瀨瀧三曲に落る、龜頂塔は龜山の巔にあり、嵐山の峯を拈花嶺といひ、大井の橋を度月橋といふ。〔大橋図に云、龜山殿の前の大路筋にあり、今の橋の河上老町許なり、已上当山十境、開山夢窓の頌あり〕

宜竹集 涵八万三千戸於波心 有水皆月

架二十七丈橋於底 未霽何虹

天龍寺什宝於客殿虫干図

南西の間

開山所藏

袈裟 白地古金襴 金地二重蔓大牡丹

袈裟 丹地富田

袈裟 紗 震且楊岐禪師所持

歴<sup>テ</sup>三十七世<sup>ヲ</sup>夢窓国師伝来

袈裟 紫地銀襴国師天龍寺供養時 賜<sup>フ</sup>紫衣<sup>ヲ</sup>

南東の間西側

墨蹟類

国師空谷 二大字 一文字蒴黄地

国師笑山 同

国師春屋 同 中茶地

同頌 同 一文字花色地

南東間北側

黙翁 頌 中字横物 一文字花色地小牡丹

円光 経文

梵音 閣 頌 一文字紫地紗 中白地小牡丹

北叟 頌 一文字 紫地紗

垂楊 頌

宋船 綱司 頌

南禅 退院 頌

平田 頌 一文字 白地大牡丹

南東間南側

開山墨跡

十願文 二幅対

和菴主頌

応無雨生 二幅対

飛空鳥 二行艸書

日本拝頌 三行物

修多羅教 細字横物

宸翰案文 横物

同東側

開山御手狀 種竹和韻

鉄舟墨蹟

三尺黒蚊 横物

和風 二幅

龜山院 御歌切  
 後醍醐帝 御歌切  
 蜻蛉 雪峰  
 馬遠 弍式 龍  
 舜拳 虎  
 顏輝 龍  
 同  
 辺文追 花鳥

二の間  
 開山像 自贊

開山像 自贊

仏圀国師像 開山贊

初祖大師 仏照贊

呉道子觀音

馬祖大士 蘇漢臣

国師 自贊

国師 同

国師 同

開祖像 鉄舟贊  
 黄龍 空谷贊  
 仰山 竺雲贊  
 高峰  
 中峰  
 興化 平石贊  
 仏光祖 墨跡  
 仏圀 墨跡  
 絶海 墨跡  
 同  
 同  
 清溪 墨跡  
 同

尊氏

馬遠

左 龍

觀音大士

右 虎

陳所翁

三幅對

三の問

普賢大士 張思恭

四睡図 無順禪師

不動尊 龍瀨和尚画 三幅對

文珠大士 兆殿司

達 磨 顏輝筆 照無象贊

山 水 馬一溪

壺公仙人 唐 画

王 元 章 梅

羅 漢 李 龍 眠

鷹 徽宗皇帝

鷺 林 良

鷹 盧 朝 陽

山 水 唐 画

芙 蓉 周 冕

子 昂

七賢図

魯 希 儉

文 紀 同

觀 日 温

荷 蒲